

車いすスペースの拡大を！ 車いすのお客様が安心して 乗車できる環境を求めます！

12月5日の参議院国土交通委員会において、れいわ新撰組の木村英子議員が、車いすを利用する立場から新幹線利用の不便さについての一般質問を行いました。

- ①車いすスペース（座席）の購入は「前日まで」ではなく当日も優先させてほしい。
- ②東海道新幹線の場合、約1300人が乗車できる中で車いすスペースが2席なのは少なすぎる。2020年パラリンピックに対応できるのか？
- ③自分のような大型電動車いすにも対応できるスペースを確保してほしい。
などと車いす利用者にとって新幹線の不便さの改善を訴えました。

赤羽国土交通大臣は、木村議員の答弁で「(当日の優先購入について) ご指摘はごもっともだと思う」「バリアフリー社会を推進する政府の強い意志をしっかりと受け止め、見直す際には障害者の声を直接聞いてほしい」などと話しました。

また、JR各社や障害者団体と改善に向けた検討会を、12月中に設立することを明らかにしました。検討会ではすぐに取り組める当面の対応策だけでなく、車両構造の見直しなど長期的な改善についても議論されます。

会社は5月から特大荷物の予約制導入を行うとありますが、まずは、東京オリンピック・パラリンピックのために車いすスペースの拡大を最優先で考えなければならないと思います。

私たち、東海労は誰もが東海道新幹線に安心して乗車できるよう「車いすスペースの拡大」に取り組んでいきます！

特大荷物の予約制導入よりも「車いすスペースの拡大」を最優先で実施すべきです！！